



# 松庵だより

第712号 12月号  
令和6年11月29日  
杉並区立松庵小学校



## 過程にこそ、成長が見える

教務主幹

10月の体育学習発表会、11月の音楽会という二大行事を終え、今年も残り一ヶ月となりました。大きな行事がある度に、各学年・各クラスでは様々なドラマが起こっています。練習に愚直に取り組む子、気持ちが乗らなかつたりなかなか上手いかずに葛藤したりする子、目標に向かって協力することで本当の仲間を見つける子。子どもの数だけ様々なドラマがあり、一人ひとりに自分なりの「成長」があります。成長を具体的に言えば、成功に向けてどうしたらよいかを考える「思考力・判断力」であったり、自発的に取り組み行動する「主体性」であったり、自分の思いを仲間や観ている人に伝える「表現力」であったりと、これまた十人十色です。

我々教職員も、今と昔では行事に取り組ませる際に大切にすることが少し変わってきました。杉並区が打ち出す「杉並区教育ビジョン2022」の中には、我々教育の当事者が日常的に心掛けることとして、「子どもの思いを尊重する」「ちがいを受け入れる」「対話を大切にすること」などが示されています。今年度の体育学習発表会や音楽会に向けての各学年の練習風景を見てみると、子どもの意見を基に内容を組み立てたり、子ども同士や教員とたくさん対話しながら発表を作り上げたりする様子が多く見られました。私の担任する6年生も、子どもの発案を多く取り入れたり、時には企画から任せてみたりして、共に試行錯誤しながら組体操や音楽劇を練り上げていきました。先生が決めた正解を目指すのではなく、自分たちで考えた正解を形にしていく時代がきたのだなと感じています。もちろん、作り上げるまでに一生懸命練習する姿のように、今も昔も変わらない風景もあります。新しい考え方を取り入れながら、ブラッシュアップされた教育を目指しています。

10～15年もすると、今の松庵小学校に在学している子ども達が社会の一員として、未来を担う中心となっていきます。行事や日々の学習・生活を通して、結果に至るまでの過程も大切にすることを学び、将来を自らの手で切り拓いていく力をつけてほしいと願いながら、今日も子ども達の前に立って最善を尽くしていきます。また、大人になるまでの成長の「過程」は、学校とご家庭でそれぞれ見えているものは違うこともあります。12月に個人面談で来校した際には、お互いに見えている子どもの成長の「過程」を、ご家庭と担任の先生で共有してみてください。

### 12月の生活目標…「すすんで後片付けをする。」

(生活指導部)

12月を迎え、今年も残すところわずかとなりました。2学期は運動会や音楽会など多くの行事を通して子どもたちの成長が感じられたと思います。行事の準備・後片付けに協力する姿はとても頼もしかったです。年末に向けて、教室や家庭での片付けの意識を高める良い機会です。「後片付けをすると、次の人が使いやすい。」ということも考えさせ、互いに気を付けながら気持ちよく生活できるよう後片付けの定着を図りたいと考えています。ご家庭でも「すすんで」「気持ちよく」後片付けや掃除ができるようご協力をお願いします。

### 生活目標「話の聞き方についての取り組み」

代表委員会では本校の年間重点目標の一つでもある「話をしっかり聞く」ことについて、合言葉を考えました。2学期は体育学習発表会や音楽会など多くの行事を通して、子供たちの話をしっかり聞く力が身につけてきたように感じます。今後もこの合言葉を生活の中で意識しながら、話をしっかり聞くことについて継続的に指導を続けてまいります。

し…し<sup>レ</sup>せいを正して  
よ…よ<sup>ク</sup>く聞いて  
う…う<sup>シ</sup>しろを向かずに  
あ…あ<sup>イ</sup>いてを見て  
ん…しつもん<sup>ン</sup>は最後にきこう